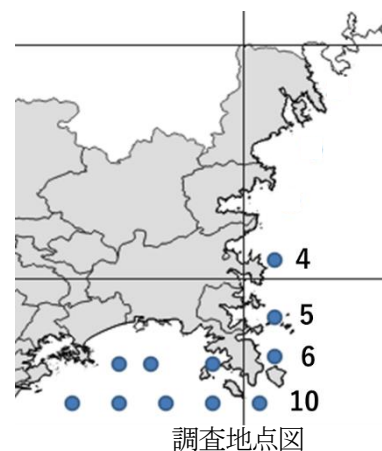


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.3)

令和6年6月14日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和6年6月7日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で16.5~17.1℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が60~470細胞/L確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン, *Dinophysis fortii*が10~30細胞/L, *D. acuminata*が10~30細胞/L確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				6月7日	5月9日	6月7日	5月9日	6月7日	5月9日	6月7日	備考
4	11:16 (85)	9.0	17.1	60	0	30	0	30	10	30	<i>D. tripos</i> 20 <i>D. infundibulus</i> 10
5	10:35 (37)	10.0	16.7	130	30	30	0	30	10	40	<i>D. tripos</i> 10 <i>D. infundibulus</i> 20 <i>D. rotundata</i> 10
6	9:39 (66)	10.0	16.5	470	0	10	0	30	0	100	<i>D. tripos</i> 20 <i>D. infundibulus</i> 50 <i>D. rotundata</i> 30
10	8:45 (63)	8.0	17.0	260	0	10	0	10	0	30	<i>D. rotundata</i> 20 <i>D. rudgei</i> 10